"eyes & handmade in japan"のJICOが発行するフリーペーパー　第7号 2014年4月1日発行

なんダイヤ!? What is this?

JICO

春号
Spring 2014

「春はあけぼの」。枕草子の第1段は、この言葉で始まります。春はあけぼのがよい。山ぎわが徐々に白く明るくなって、紫がかった雲がほそくたなびいている。そういう景色が美しい。清少納言はそう言っています。すがすがしい朝の空気の中、春の日差しいっぱいの一日が始まろうとしている状況が感じ取れます。第191段には「浜は、有度浜。長浜。吹上の浜。打出の浜。諸寄の浜。千里の浜、広くて思いやられる。」とあります。「諸寄の浜」は弊社の所在する兵庫県新温泉町にあり、「雪の白浜」としても知られ、歌枕にもなっています。その諸寄の海も冬の怒涛から"ひねもすのたり"とした海に移ろいできました。

いよいよ春本番です。野山は芽吹き、鳥はさえずり、森羅万象が自我を主張するように活気づいています。弊社の56期もスタートします。レコード針の製造をはじめ従来からの製品をさらに深化させるとともに熱伝導材など新しい製品開発に全力を傾注していきます。「品質・納期・価格」の三種の神器を大切にして、お客様のご要望にお応えしていきたいと考えています。

社員の横顔

vol.04 奥充男さんの『ギター職人道！』

入社する前は、
東京でギター・ベースの製造をしていました。
趣味で演奏するだけでは飽き足らず、
自分で作ってみたいと思い、専門学校へ。
自分の思い描くものを形にすることが
こんなに難しいとは‥と実感し
ギター作りの勉強に打ち込みました。
お客様に完成したものを見ていただき、
弾いてもらって喜んでいただいたときは
とても嬉しかったです。
今現在でも、趣味でリペア（修理）や改造、
メンテナンスなどやっています。
ギターのことなら気軽に聞いてください。
写真に写っているギターは、僕が一から作った
ギターでお気に入りの1本です。（笑）

勤続年数：5年4ヶ月　CGグループ主任

ええとこ浜坂 Hamasaka 第7回

"恋人の聖地"城山園地

芦屋坂から城山へ続くつづら折りの桜並木をぬけると、北前船の風待ち湊として栄えた「諸寄」と日本海が一望できます。この城山は、室町時代から但馬水軍の要衝の地として塩冶氏が居城しいましたが、1580年羽柴秀吉軍によって落城しました。今では、この城山園地からの眺望や夕陽を眺めるカップルも多く、"恋人の聖地"に選定されています。

この土地だからこそ、この言葉 私の好きな浜坂ことば

【第3回】
たばこしょ～
品質管理課
副主任 丸谷一美

私は狭山茶どころで知られる埼玉県入間市で生まれ育ちました。主人の実家へUターンして21年になります。「うん？」と思う方言も、顔の表情や話の流れであれこれ想像しながら、埼玉だったらなんて言うかな‥と考えたりしていました。
そのなかでも驚いた言葉の一つが「たばこしょ～」です。おばあちゃんの友達が農作業の合間に私の娘の頭を撫でながら、前号でも紹介された「ほんこだなあ（良い子・かわいい子・利口な子という意味）」と言いながら、更に「たばこしょ～かえ～」って口々に言うんです。「えっ！おばあちゃんたち、みんなタバコ吸うんだぁ…」でも出てくるものは、薬草茶にお菓子ばかり。あとで主人に聞いて笑いました。「たばこしょ～」は「一服しましょう」「一休みしましょう」という意味だったんですね。もう何年も前のことですが、その情景は、おかしいやら懐かしいやら、おばあちゃんたちの連帯感を思い出させてくれます。

社長の独り言 かずやんの Wonder Land!

愈々 50代になり、憧れの白秋の時を迎えましたが、自覚も修養も足りず、相変わらず青臭い言動が改まりません。そんなしがない三代目社長の真情を思うに任せて書いてみようと思っています。

『桜の値段』

吉野山、平安神宮、根尾谷、高遠、彦根城と桜の名所を訪ねるのが、いつ頃からかの楽しみです。その中でも心に残る桜は京都・洛北の原谷苑という個人所有の庭園です。
そこは駐車場の無い不便な場所で、近くでタクシーに乗り換えたと覚えています。約4千坪の敷地にはソメイヨシノ、彼岸枝垂れ桜等20種500本がありました。山にあるからか余計なものが視線に入らず、ここは桃源郷かと息を呑む美しさでした。それに増してユニークなのは、行く日によって変化する入場料。
つまり三分咲き、五分咲き、満開という桜の開花具合で料金が異なるのです。これには驚かされましたが、ある意味理にかなっていると頷けます。
桜も生もの、鮮魚の様に時価であるべきなのかもしれません。齢50を数えた今、自分は一体何分咲きかと自分の値打ちを思い「あと何回満開の桜を見れるだろう」と歌う竹内まりやの曲に、少々センチにもなる今日この頃です。

PHOTO ALBUM

慈光会日帰り旅行 ～「吉本新喜劇」観劇～

3月1日（土）慈光会（社員親睦団体）主催の日帰り旅行を行いました。日頃の疲れを笑い飛ばそう！ということで、なんばグランド花月で吉本新喜劇を観劇しました。
但馬浜坂からトイレ付のバスに揺られ、3時間30分かけて難波に到着。昼食、自由行動の後、なんばグランド花月へ。
漫才や落語、新喜劇など涙を流して大爆笑！社員との親睦を深め、明日からのファイトをいただきました。

編集後記

桜の季節になりました。なぜか春は、陽気な気分になりますね。今、お客様から仕事をいただいていること。仕事を通じて社会に貢献できていること。そして家族が元気でいること。すべてのことに感謝したいですね。56期も元気で頑張りましょう。

発行 JICO 日本精機宝石工業株式会社 NIPPON PRECISION JEWEL INDUSTRY CO., LTD.
[本社/工場] 〒669-6701 兵庫県美方郡新温泉町芦屋100番地　TEL：0796-82-3171（代表）FAX：0796-82-4110
[営業本部] 〒541-0054 大阪市中央区南本町1-3-9サンコービル8階　TEL：06-6264-1200（代表）FAX：06-6271-1260
http://www.jico.co.jp
●このフリーペーパーに関するお問い合わせ先：経営管理室 新古まで
●WEB等への無断転載・転用はお断りします。

工業用ダイヤモンドバー

弊社では、形状の良い天然ダイヤモンドを厳選し、独自の電着技術によって、ダイヤモンド粒子が強固に固着されており、長寿命を誇っています。ダイヤモンドバーは、軸径1.6㎜、2.34㎜、3㎜、6㎜の4タイプを定番とし、砥粒は天然ダイヤモンド、CBN（立方晶系窒化ホウ素）、合成ダイヤモンドの3種でお客様の用途に応じて製造しています。

歯科用ダイヤモンドバー

歯科用ダイヤモンドバーは、FGタイプ（軸径1.6㎜/治療用）HPタイプ（軸径2.34㎜/技工用）の2タイプで、砥粒は天然ダイヤモンドのみを使用しています。

＼この粒をシャンクにくっつけています／

天然ダイヤモンド砥粒

CBN砥粒

合成ダイヤモンド砥粒

JICOのさらに知ってほしい"製品と技術"

ハイエンドブラック

特殊高度処理（窒化処理）により、しっかりとした手応えとしなやかさを兼ね備えたシャンクを実現した製品です。軸径3.0㎜で砥粒は天然ダイヤモンド、CBNを使用しています。

＼耐久性UP！／

T処理

特殊な表面処理により、シャンクネック部を硬化処理し、研削量、耐久性を向上させ、切れ味がよく、熱による歪みを最小限に抑えています。

この部分を硬化処理！

もっと！ もっと！

知ってほしい "handmade in Japan"の JICOの製品

【ダイヤモンドバー】

ダイヤモンドバーとは、シャンク表面にめっき層を作り、ダイヤモンドを固着したものです。工業用では金属部品、磁器、ガラス、半導体などの加工に使う研削砥石として、歯科用は歯科治療や歯科技工士向けの研削治具として広く使用されています。弊社では、さびにくく、磁性を帯びにくいステンレスをシャンクに採用しています。また砥粒が電着された状態での形状、めっき厚、ダイヤモンドの集中度の均一性を徹底しているため、安定した寿命と、高い加工性により、思い通りの加工を可能にします。

＼私たちが作っています／

製造行程

❶ NC旋盤による シャンク加工
ステンレスの棒材を、お客様のご要望どおりの形状に加工します。

❷ 組立作業1
NC旋盤で加工されたシャンクを用い、めっきのための前準備をします。

❸ 組立作業2
シャンクにめっきをする場所、しない場所を区別することが重要です。一つ一つ丁寧に作業を進めています。

❹ 電着めっき
組立てたシャンクを砥粒とめっき液の入った槽に投入。電流や温度の管理などデリケートな作業が続きます。

❺ 電着状況の確認
めっきが均一にできているか、めっきが厚すぎないかなど確認します。

❻ 仕上がり検査
電着めっきの仕上がり検査を1本1本丁寧に社内検査基準に基づいて検査しています。

❼ 剥離試験・落下試験
仕上がったダイヤモンドバーの剥離試験などを行い、品質保持に努めています。

❽ 磨き作業
シャンクを1本1本磨き、弊社の社訓にある「より美しく」を実践しています。

❾ 包装作業
完成品は、弊社で製造したパッケージに丁寧に包装し、お客様にお届けしています。

＼より良い製品づくりを目指します／

めっき技術勉強会

めっき技術向上のため、随時、専門講師を招き、作業上の課題や品質の向上に向けて、部門全員で勉強会を開催しています。

整理・整頓・清潔・清掃を徹底！

4S推進委員会

「整理」「整頓」「清潔」「清掃」。表面的にはただの雑用に見えるかもしれませんが、実践するとなかなか奥が深いものです。生産現場では、必要なものがいつも決まった場所にあり、いつもきれいな状態が保たれています。弊社では職場をきれいにするだけでなく、生産の効率化や作業者の安全確保、さらには品質の向上につながり、大いに意義のあるものだと考えています。

- 毎日の10分間清掃
- 年間優秀職場を表彰（年2回、部門ごとに監査をします。）
- 「断・捨・離」を心がける

このような活動を通して、生産効率UPや安全な職場づくり、さらに品質の向上に取り組んでいます。

JICOを支える！人々

JICO Wo Sasaeru Hitobito

改善や効率のことを常に意識してます！

DDグループに所属し、ダイヤモンドバー製造の組立、磨き、包装の作業をしています。品番や工程も多く、勤務歴も短いのでまだまだ分からないこともありますが、

勤続年数 2年6ヶ月

山本 名津季
YAMAMOTO Natsuki
DDグループ

先輩方に教えていただきながら勉強の日々です。お客様により良い商品を早くお届けするため、改善や効率のことを常に意識しながら仕事に取り組んでいます。

Vol.6

研究セクションのお仕事

UVを用いためっき前処理の検討

2014年3月18日、京都府中小企業技術センター・京都府鍍金工業組合の主催で、平成25年度電気めっき排水巡回指導報告会が同技術センターで開催されました。この報告会で、弊社技術部の山本晋也副主任が「UVを用いためっき前処理の検討」について講演を行いました。

UVを用いて、湿式めっきの前処理の中でアルカリ脱脂の工程を削除し、工程の削減、時間の短縮化、作業環境の改善、排水処理の工程の削減など多岐にわたる省力化の現状を技術的に解説しました。

ダイヤモンド活用アイディアコンペに採択！

去る2014年3月5日（水）
経済産業省近畿経済産業局主催の
ダイヤモンド・イノベーション・クラブ
（第6回研究会）で
弊社のアイディアが採択されました。

『単結晶ダイヤモンドを使った一体型レコード針チップの研究』と題されたもので、複数素材（アルミニウムやポロン、エポキシ系接着剤）で構成されている現行のレコード針の針先部を単結晶ダイヤモンドのひとつモノとして造形し、レコード針に組み込むというものです。理論上、音声信号を減衰、変質させることなく伝達でき、理想的な音が再現出来るものと期待を寄せています。

コンタクト生産目標達成！

2011年1月に仲川専務より「CG部門のコンタクトの生産をもっと成長させよう！」との指示があり、「作業改善」をテーマに掲げて生産性の向上と合理化を推進してきました。それから2年有余、各種目ともに成長させ、2013年12月には4度目の月産目標数を達成しました。このことは偏にCG部門の皆さんの努力と関係各位のご協力のお陰とお礼申し上げます。

「コンタクト」について

CG部門で生産しているゲージコンタクトは、円筒研削盤を用いる加工現場では最も重要な「コンタクト接触子」という工具のことです。天然ダイヤモンド・PCD（焼結ダイヤモンド）・超硬などの種類があります。

取締役 高羽 雄三

外から見たJICOを、語ってもらいました！

うわさのJICO

JICOさんは「不易流行」を実践されています。

株式会社WCLソリューション
代表取締役 **覚前 忠義** 様

JICOさんは最近希薄になりつつある礼儀や季節行事など、日本人が当たり前に行っていた事を変わらず当たり前にされていて、いつも勉強させて頂いています。

これはきっと製品にも現れているんだろうなと思います。我々も心の通うサービスのご提供が出来るよう見習って参ります。

改装中の営業本部で、机の組立している覚前社長。▲

営業が綴る、日々のできごと。

営業 本部のお仕事日記

Vol.7
城戸 梨衣

営業の必須アイテム 名刺入れ

New Business Card Holder

最近、名刺入れを新しいものに買い替えました。
入社からずっと、何もこだわりのない黒革の名刺入れを使用していて、そのことを特に気にしていませんでした。
でも様々なお客様と名刺交換させていただく際に、こだわった名刺入れを持っておられるお客様にお会いすると、素敵だなと思っていました。

会社の顔である"営業"は、会社のカラーに染まっていくものだと思いますが、少し自分のカラーも出したい、という欲張りな面があるようで、そんな気持ちから私のテーマカラーである『赤』の名刺入れを買うことに決めました。
入社3年目。
まだまだ未熟ですが、仕事をこなすだけでなく、少しずつ自分なりのこだわりや、やり方を見つけていきたい！と思っています。

ダイヤモンドセレクション社内試験

4名合格！

2013年12月18日、ダイヤモンドセレクションライセンスの社内試験を行いました。
良いダイヤ原石を選別することは、良い品質を確保するための第一歩です。
試験の結果、昨年に引き続き合格した2名と、新たに合格した2名の計4名が2014年ダイヤモンドセレクションライセンスを取得しました。

※4名の社員の名札には、ライセンスシールが貼られています。

尾崎了典（継続）

中村匡志（継続）

石津大助 副主任（新規）

森 貴裕 副主任（新規）